

## 令和6年度 学校教育自己診断(保護者) 考察

【23. 八尾高校はいじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる学校だと思う。】

「わからない」と回答した割合が非常に多いですが、これは、全ての生徒が必ずしもいじめに直面するものではないため、学校側の対応について判断が難しいと考えたためだと思われます。引き続き、啓発活動等を通じて、保護者や生徒への理解を深めていく必要があります。

---

【24. 授業参観や懇談、文化祭や体育祭などの学校行事に参加したことがある。】

【36. 災害時や緊急時の対応について、緊急ブログ等を通じて子どもの保護者に知らせている。】

過去3年間の平均値と比べて数値が大きく伸びました。今年度から導入した連絡ツール「ラクメ」が、教員と保護者との間の連絡を簡便化したことが、この結果につながったと考えられます。今後も「ラクメ」を活用し、効果的な情報発信に努めていきます。

---

【26. 八尾高校のホームページや各種ブログ等よく見ている。】

肯定的な評価の割合が依然として低い状況が続いています。

現状の学校現場では、教職員の多忙さから、ブログなどを頻繁に更新することが難しい状況です。

一方で、ホームページの全面刷新については、再来年度をめどに進めていく予定です。

※今年度は広報係としてリーフレットの見直しに多くの時間を費やしましたが、デザインの面で他校と比較して見劣りする点が課題として残りました。そのため、来年度は約100校のパンフレットを比較・検討し、リーフレットの掲載内容の厳選や目を引くレイアウトの選定に努めてまいります。また専門業者の協力を得るため、来年度の予算に広報活動費を確保する方向で議論を進めていきます。

---

【32. PTA活動は活発に行われている。】

教頭が主体となって運営を進めていることが高く評価されました。一方で、「わからない」と回答した割合が多いことから、この評価は「PTAに一定の関心がある方」によるものだと考えられます。

PTAに関心が薄い方にもアピールできる取り組みが課題となります。

---

これらの結果を基に、各部署で改善計画を立て、さらなる満足度向上をめざします。